



千葉県の最新医療情報紹介

子宮筋腫に対する動脈塞栓術

切らずに治す子宮筋腫の最先端治療

お腹も子宮も傷つけないまま、辛い症状から解放される！
子宮筋腫治療に登場した新たな選択肢。



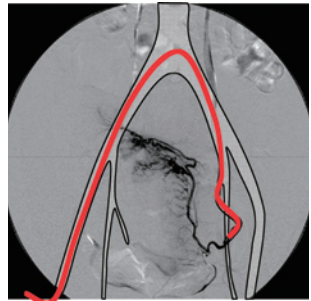
千葉大学大学院医学研究院
生殖機能病態学 教授
生水 真紀夫 医師

せん。30〜40代の女性の3〜4人に1人は子宮筋腫を持っていてといわれ、その年代に症状が出てくることが多い病気ですが（この年代から婦人科検診を受ける人が増え、見つかる確率が高くなるということもあります）、最近では20代の患者さんも見られます。

女性ホルモンの影響で大きくなる腫瘍であるため、筋腫があつたとしても、50代を過ぎて生理が無くなれば自然と小さくなって症状も消え、治療の必要も無くなります。

また、子宮筋腫が見つかったても、必ず治療しなくてはならないわけではありません。とりたてて困った症状が無ければ、経過観察のみの無治療となります。全く症状が出ない方も多いため、お腹に子宮筋腫を持っていても、そうとは気づかないまま何の問題もなく一生を過ごされる女性もたくさんいます。

逆に、人によつては臨月の妊婦さんのようなお腹になつてしまうほど腫瘍が巨大化してしまふこともありまふし、重度の



子宮動脈塞栓術

貧血や激しい痛みなど、様々な辛い症状に苦しめられている患者さんもあります。さらに、腫瘍のできた位置や大きさによつては時に不妊の原因となつたり、ごくまれに悪性腫瘍の一種である「子宮肉腫」が見つかることもあるため、軽視はできません。

子宮筋腫の症状と治療法

子宮筋腫が原因となつて次のような症状がある場合には、治療が必要となります。

- ① 生理時の出血が多く、貧血がある。
- ② 強い生理痛、下腹部痛、腰痛がある。
- ③ 筋腫が原因の不妊症が疑われる。
- ④ 他臓器への圧迫症状がある。（筋腫が膀胱を圧迫しているための頻尿や、腸を圧迫しているための便秘など）
- ⑤ 悪性の疑いがある。

そして、現在行われている子宮筋腫の治療法としては、主に次のようなものがあります。

① 手術

筋腫を子宮ごと摘出する場合と、筋腫のみを摘出する場合とがあります。

② 薬物療法

筋腫の大きさも症状もそれほどではない場合、痛みに対しては鎮痛剤、貧血に対しては増血剤を用る、いわゆる対症療法で対応します。

また、女性ホルモンの分泌に左右される子宮筋腫の特徴を利用し、薬物によつて女性ホルモンの分泌を抑えて人工的に閉経状態をつくるホルモン療法もあります。生理が止まるので、生理時の出血過

子宮筋腫に悩まされてはいるものであれば手術はしたくないし、子宮も残したい。そんな女性達への朗報といえる新しい治療法が子宮筋腫に対する動脈塞栓術です。2005年にアメリカのライス国務長官がこの治療を受け、ほんの数日で仕事復帰したことも注目を集めた動脈塞栓術について千葉大学医学部付属病院の生水真紀夫先生に伺いました。

子宮筋腫とは？

子宮筋腫とは、子宮の筋肉からできる良性の腫瘍です。悪性腫瘍（がん）ではないので、増殖して周囲の組織を侵したり、他の臓器に転移することはありま

◆ 子宮筋腫の動脈塞栓術のメリットとデメリット ◆

■ メリット

- ・ 子宮を温存できる。
- ・ 開腹しないため、体への負担が少ない。
- ・ 局所麻酔で治療できる。
- ・ 入院期間が2～3日と短い。
- ・ お腹に傷を残さない。
- ・ 再発がほとんどない。
- ・ 貧血があっても治療できる。

■ デメリット

- ・ 筋腫だけでなく、子宮の正常な筋肉に対してもダメージを与えてしまうことがある(無月経など)。
- ・ 卵巣の働きが悪くなることもあるため、妊娠・出産希望患者には使えない。
- ・ 壊死した筋腫の細胞から、子宮内に感染を引き起こすことがまれにある。
- ・ 治療後の数日間の強い痛みや発熱、閉経が早まるなどの症状がある。
- ・ 現時点では保険がきかないため費用が高い。(病院によって異なるが30～35万ほど)
- ・ 筋腫を取る治療ではないので組織の検査ができず、悪性が疑われる場合は治療の適応外となる。

多による貧血や生理痛がいったんは解消するもの、ホルモン療法には副作用があるため6ヶ月が限度とされており、治療をやめると筋腫も症状も元に戻ってしまうのが普通です。

③ 動脈塞栓術(UAE)

手術をせずに症状を改善するための新しい治療法。次の項目で詳しく解説します。

④ エコーによる熱凝固(FUS)

筋腫に特殊な超音波を照射し熱で凝固させる新しい治療法。体へのダメージは塞栓療法以上に少ないものの、適応となる症例が非常に少ない上、治療効果の安定性という点で動脈塞栓術に劣るといえるのが現状です。

⑤ 漢方薬

副作用の心配がないため、生理痛などに対し古くから用いられています。

子宮筋腫に対する動脈塞栓術(UAE)とは？

子宮筋腫の症状が薬物療法では改善できないという場合、以前なら、残された治療法は手術しかありませんでした。

そんな中、手術でお腹を切ったり子宮を摘出することなく、子宮筋腫の症状を改善できるようにした画期的な最新治療が動脈塞栓術です。「塞栓」とは、文字どおり栓をしてふさぐという意味で、動脈塞栓術とは、筋腫に栄養や酸素を送っている血管(子宮動脈)をあえてふさいで詰まらせてしまう治療法です。

具体的には、局所麻酔をした上で、右ふとももの付け根からカテーテルという直径2ミリメートル弱の細い管を血管に入れ、子宮動脈から塞栓物質(ゼラチン

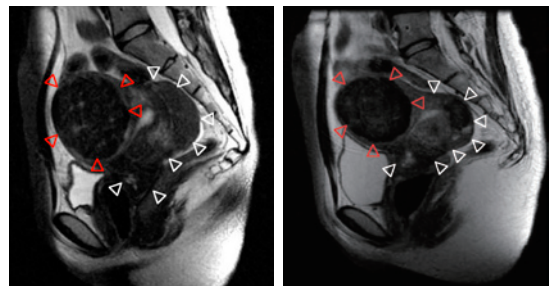
ンスポンジ)を注入。これにより筋腫につながる血管の血流がせき止められ、

酸素と栄養の供給を絶たれてしまつた子宮筋腫

は壊死(組織が死ぬこと)を起こして徐々に縮小。それに伴い、症状も軽快していくというわけ

です。治療にかかる時間は1時間程度。子宮を温存できる上、開腹手術に比べると体への負担はかなり少なく、治療を受けた翌日には歩くことができ、2日か3日目には退院できます。治療を受けた患者さんの8～9割は症状が改善し、8割強の人は5年後をみても追加治療の必要がありません。

しかし逆に言えば、思ったほど症状が軽快しなかったり、追加治療が必要になる方もいらっしゃるの、「確実に症状を取り去りたい」という患者さんにはお勧めできません。また卵巣機能が低下することもあるため、現時点では妊娠・出産希望のある患者さんには禁忌となっています。筋腫の位置や大きさ、患者さんの体の状態や要望によってこの治療の適応となるか否かは変わってきますので、主治医とよく相談して治療法を選ぶことが大切です。



UAE 施行症例 (赤矢頭：子宮筋腫、白矢頭：腺筋症を含む子宮)